

【認定基礎研修会シラバス】 2016.2.14 更新

研修科目	訪問リハビリテーション総論	履修時間	90分
到達目標	地域における訪問リハビリテーションの役割と訪問療法士の視点を理解する。		
概要	訪問リハビリテーションとは、リハビリテーションを必要とする対象者およびその家族を、チームで連携し支援する活動である。現状のリハビリテーション医療の流れにおける生活期リハビリテーションの意義とあり方について理解し、在宅支援としての訪問リハビリテーションの役割、その基本的な考え方、視点を学ぶ。		
講師	訪問リハビリテーション協会三役		
内容	リハ医療の流れと其中的生活期リハの現状と役割 訪問リハビリテーションの定義と現状 訪問リハにおけるICFの視点の重要性と生活支援 訪問リハ支援のあり方と具体的な業務について 地域包括ケアシステムにおける訪問療法士の役割		

研修科目	訪問リハビリテーションにおける医療・介護保険制度の理解	履修時間	90分
到達目標	訪問リハビリテーションを取り巻く情勢は、介護保険制度および医療保険制度の改定によって変化するため、常に最新の情報を得る必要がある。 この講義では、訪問リハの現状と課題、および訪問リハの実践に係る介護保険制度、医療保険制度について学ぶ。		
概要	介護保険制度における各種サービスの使用の実態を把握し、その中での訪問リハサービスの現状について提示する。医療・介護保険制度におけるPT・OT・STの居宅訪問サービスの種類とそれぞれの役割について、その共通点や制度上の留意点について示し、今後の社会情勢や制度の改定についての展望やその中での訪問リハの方向性について提議していく。		
講師	理事、認定訪問療法士		
内容	訪問リハの概要：訪問リハの件数など 介護保険制度における訪問リハビリテーション 医療保険制度における訪問リハビリテーション 医療機関、老健、訪問看護ステーションからの訪問リハの現状と課題 制度改正の方向性と課題		

研修科目	リハビリテーションマネジメント論	履修時間	90分
到達目標	リハビリテーションマネジメントを理解し、多職種協働によるアプローチ手法を習得する。		
概要	リハビリテーションマネジメントは、算定の有無にかかわらず訪問リハビリテーションを提供するうえで必須のスキルである。ガイドラインをベースに実践例を交えながら、適切なリハビリテーションマネジメント手法を理解し習得する。		
講師	理事または認定訪問療法士		
内容	リハビリテーションマネジメント総論 訪問リハビリテーション計画の作成(リハビリテーション会議のあり方) 目標設定と多職種協働の実践		

研修科目	マナーとインタビュー	履修時間	120分
到達目標	社会人としての常識やマナーを身につける。 利用者・家族の望みやニーズを的確にインタビューすることが出来る。		
概要	基礎的なマナーを学び、居宅において正しい振る舞いが出来るようになる。 基礎的なコミュニケーションスキルや面接技法を学び、利用者の思いや希望を的確に聴取出来るようになる。		
講師	理事または認定訪問療法士		
内容	講義:60分 ・訪問者としての心得 ・マナーの基本 実技:60分 ・コミュニケーションの基本 ・インタビュー(面接)を展開する技法		

研修科目	リスク管理	履修時間	90分
到達目標	訪問リハビリテーションに関するリスクとその対処方法を理解し、安全な訪問リハビリテーションが提供できる。		
概要	病院(施設)と在宅におけるサービス提供環境の違いと高齢者の特性を理解し、訪問リハビリテーションで実践されるフィジカルアセスメントについて解説する。		
講師	理事あるいは認定訪問療法士		
内容	リスク管理総論 訪問リハビリテーションにおけるフィジカルエグザミネーション 視診、問診の目的と方法 聴診の目的と理解 触診、打診の目的と理解 摂食・嚥下に関するリスク管理 生活環境におけるリスク管理 ヒヤリ・ハットアクシデント報告の活用		

研修科目	多職種連携の考え方と方法	履修時間	90分
到達目標	多職種が連携するための方法とその意義について学び、自分達の実践している連携を振り返るとともに取り組むべき課題や改善点を整理する。		
概要	訪問リハビリテーションの実践では、利用者と家族の目標に向かって、多職種と連携にてアプローチをすることは必須であり、良質なサービス提供のキーワードである。多職種連携の心構えから実践方法まで、事例をとおしてその意義を理解する。		
講師	理事あるいは認定訪問療法士		
内容	多職種連携の目的と必要性の理解 連携の心構え 連携の実際と課題		

研修科目	グループワーク	履修時間	180分
到達目標	グループ課題をとおして、他者の意見・考えを聞き、新たな気づきを得る。		
概要	「リスク管理」「多職種連携」「リハビリテーションマネジメント」をテーマに、日ごろの疑問や悩み、実践方法等を意見交換し、情報共有するとともに取り組めべき姿勢を理解する。		
講師	理事あるいは認定訪問療法士		
内容	グループディスカッションとまとめ (テーマ: リスク管理、多職種連携、リハビリテーションマネジメント) プレゼンテーション フィードバック		

- 非会員の方の認定基礎研修受講済みの方の取り扱いについて（2021年4月5日追記）
 現行：非会員で基礎研修を受講した際の修了証には期日が記されており、2年以内に会員となり、技術研修を受講することで修了書は有効
- ・2018年度受講の方は本来2020年度内の期日まで受講可能 2022年度内の期日まで可能とする
 - ・2019年度受講の方は本来2021年度内の期日まで受講可能 2022年度内の期日まで可能とする